

ACCESS

JR中央線 武蔵境駅 南口から乗車、約8分

- ② 番のりば：国際基督教大学ゆき 境93
- ③ 番のりば：狛江駅北口ゆき 他 境91
- ④ 番のりば：吉祥寺駅ゆき 他 吉01

JR中央線 三鷹駅 南口から乗車、約15分

- ⑤ 番のりば：国際基督教大学ゆき 他 鷹51

京王線 調布駅 北口から乗車、約20分

- ⑭ 番のりば：武蔵境駅南口ゆき 境91
- ⑭ 番のりば：三鷹駅ゆき 鷹51

小田急線 狛江駅 北口から乗車、約45分

- ① 番のりば：武蔵境駅南口ゆき 他 境91



● 停留所「西野」下車、徒歩約5分

東京神學大學

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-30
TEL: 0422-32-4185 FAX: 0422-33-0667
E-mail: tuts@tuts.ac.jp
URL: <https://www.tuts.ac.jp>



東京神学大学の校章は、ギリシャ語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をデザインしたものです。テオロギアとは、テオス (theos: 神) についてのロゴス (logos: 言語・学問) という意味です。



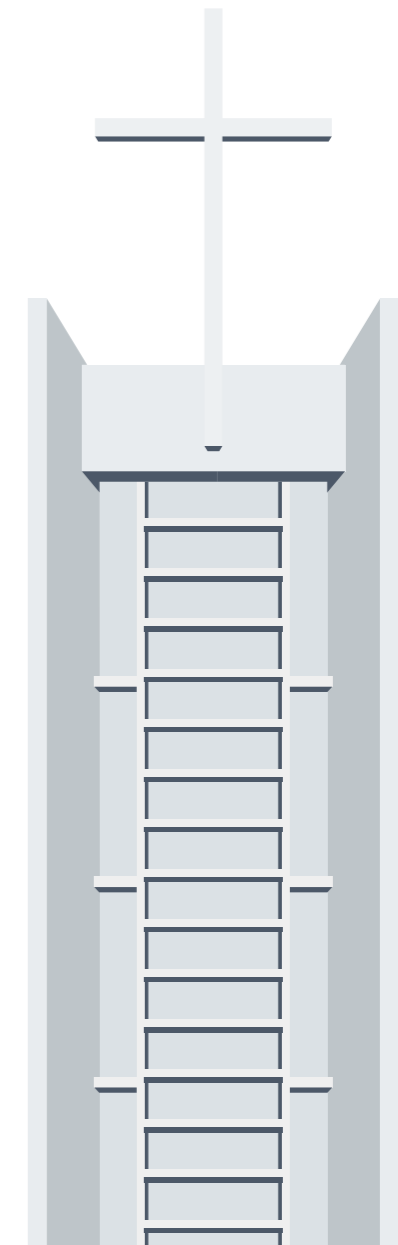
大学認証評価

東京神学大学は、2019年度に公益財団法人大学基準協会の大学認証評価を受審し、同協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

TOKYO UNION THEOLOGICAL SEMINARY

東京神学大学

学校案内 2023



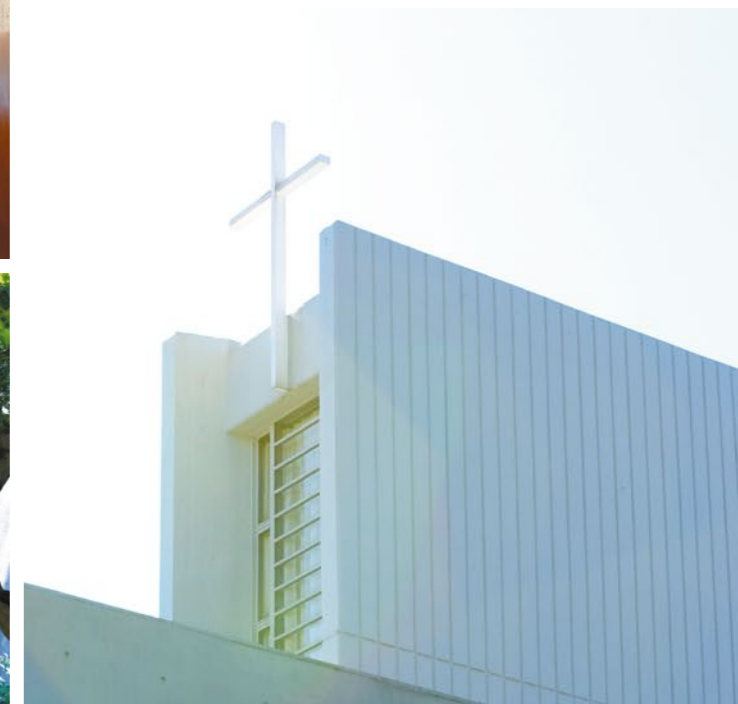
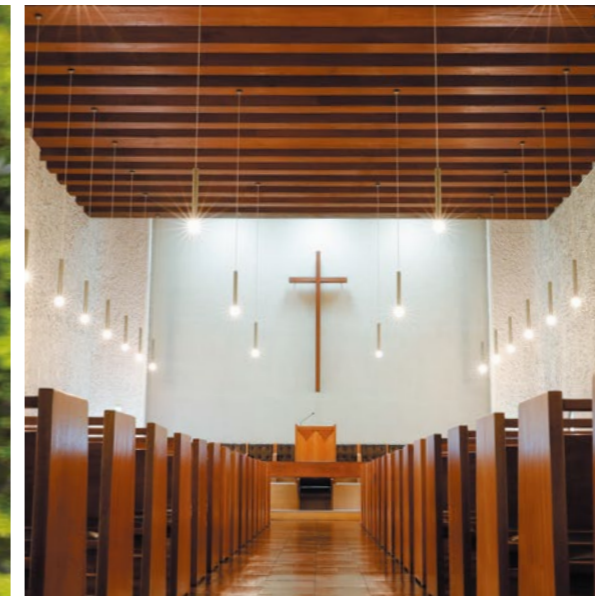
東京神学大学では、11月・2月・3月に入学者選抜を行いません。
学生募集要項の請求・お問い合わせは教務課入試係まで。

MESSAGE



イエス・キリストを知り、
伝えられるようになるために

こうじろ まさみ
学長 神代 真砂実



「内緒にしておきたい」とか「秘密にしておきたい」とかいった言葉を含んだタイトルの本を見かけることがあります。それは隠れた名店や観光スポットなどの紹介です。考えてみれば、矛盾した話です。「内緒にしておきたい」のであれば、本など出さない方がよいのですから。けれども、それはきっと私たちの心にある、どうしようもない衝動であるのでしょう。自分にとって本当に大切なものを、他の人に伝え、分かち合うようになりたいという気持ちが、私たちの中に芽生えてくるのを抑えることはできないのです。

伝えるとなれば、私たちは、その魅力を語る言葉を見つけていかなければなりません。「凄い」「すごい」と言っているだけでは伝わらないところを言葉にして、わかってもらいたいからです。「なるほど」と思ってもらいたいからです。そして、そのためにも、自分をそこまで惹きつけるものをもっとよく知りたいと思うでしょう。

さて、イエス・キリストが本当に自分にとって大切であるのなら、同じように、他の人と分かち合いたいという思いが生まれてくるでしょう。それならば、私たちは、自分が感じる信仰の喜びと、その理由を表現する言葉を見つけていかなければなりません。あるいはまた、自分が、どうしてそこまでイエス・キリストに心を惹かれるのか、このお方を自分の救い主として信じ、従おうと思う、その理由は何であるのか、知りたくなってくるでしょう。もっとしっかりイエス・キリストを伝えられるようになりたい。そのために、もっとよくイエス・キリストを知りたい。——そういうあなたをお待ちしているのが東京神学大学です。牧師やキリスト教学校の聖書科教師になる場合でも、信徒として教会に仕えていく場合でも、最良の学びが用意されている場所、それが東京神学大学です。

東京神学大学が求める人材

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

東京神学大学は、以下のような能力・意欲等をもつ学生を求めます。

- 1 召命を確信し、献身の姿勢が明確である者
- 2 公同的な福音主義的信仰を告白する者
- 3 主体的な信仰生活に身についている者
- 4 基本的なコミュニケーション能力を身に付けており、伝道者としての人格の形成を望む者
- 5 高校卒業程度の基礎学力を有し、論理的思考ができる者

CONTENTS

- P.02 学長メッセージ
- P.04 四つの学びの分野 / 学びの流れ
- P.06 聖書神学
- P.08 組織神学
- P.10 歴史神学
- P.12 実践神学
- P.14 学びの特徴
- P.16 キャンパスライフ / キャンパスカレンダー
- P.18 キャンパスマップ
- P.19 データで見る東京神学大学

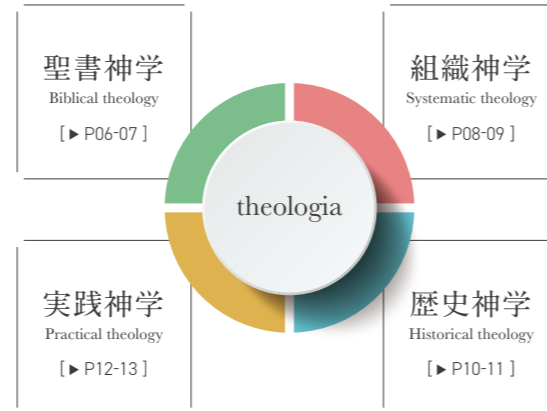
東京神学大学の学び

四つの学びの分野

神学に欠かせない四つの領域をバランスよく学ぶ

神学は、ギリシャ語ではテオロギアといいます。神(テオス)についての言語・学問(ロゴス)という意味です。しかし、神学は人間の知恵に基づいて神を認識する学問ではありません。神ご自身がイエス・キリストを通して自らを啓示されました。この出来事なしに、私たちは神を知ることはできません。このような神の啓示を前提として、それを謙虚に受け止め、神の言葉に真摯に耳を傾けるところから神学は出発します。

キリスト教の歴史を通して、神学は色々な仕方で開催されてきました。現代神学においては、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学という四つの研究領域のもとで神学という学問が営まれています。東京神学大学では、これらの四領域をバランスよく学べるよう、カリキュラムが組まれています。



| Graduate's voice |



福音を告げ知らせる「声」となる

日本基督教団 富士見町教会 牧師 小宮 一文

東京神学大学では四つの神学の分野を体系的に学ぶことができます。これをからだに例えてみてもよいかもしれません。四つの神学の分野すべてが、生きた神の言葉を聴くための目となり耳となり、そして背骨や筋肉、靭帯となり、最後に福音を告げ知らせる決定的な一点の「声」となる。東神大での学びはその声となって出ていくための過程ではないかと思えます。「あなたの主は死に打ち勝ったよみがえりのイエスなのだ」。死の支配ではなく、神の支配を告げること。それを知らせる声をこの世界は待っています。東神大で学ぶ神学の喜びは、福音の声とされていく喜びです。

PROFILE

会社員生活の中で受洗、そして献身。2016年に博士課程前期課程修了。鎌倉雪ノ下教会、紀南教会を経て、現在富士見町教会牧師。

学びの流れ

学部1・2年次

神学校での学びは、キリスト教信仰および聖書についての初歩的な知識の修得からスタートします。学際基礎科目では、多彩な講師陣が学びを支えます。また、神学の学びに欠かせない英語やドイツ語の基礎力も養います。留学生を対象に日本語の授業も開講されています。



学部3・4年次

専門科目の履修を通して、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学の四分野を徹底的に学びます。特定の分野に偏ることなく幅広い知識が修得できるようカリキュラムが組まれています。また、神学書の講読を通して、語学力と神学的思考の更なる向上を図ります。最終学年では卒業論文を執筆し、博士課程前期課程に進むための備えがなされます。



博士課程前期課程

博士課程前期課程の授業は、専門的な知識を深めるために講義形式で行なわれるものと、主体的に神学する能力を養うために演習形式で行なわれるもの、その両者を組み合わせるものがあります。更に、神学校での学びの集大成として、修士論文を作成します。修士論文提出後は、実践神学研修課程において、実践に関わる極めて具体的な諸課題・諸問題についての取り組み方を学ぶことで、伝道者としての職務に必要な実践的な知識をも身に付けます。



全国各地の教会、学校へ



博士課程後期課程

在職のまま博士の学位取得を目指すことができます。

神学部神学科

大学院神学研究科

教職課程科目

教職課程科目は、教育職員免許状取得希望者対象です。免許状取得に必要な科目の履修・修得には最低でも3年間を要しますが、3年次編・転入者は、大学院修了までに専修免許状取得を目指すことができます。

聖書神学 Biblical theology

聖書は人間の言葉に表された神の言葉です。神学はいつでも聖書の言葉に聞くことを土台にします。聖書神学は、聖書テキストが本来どのような歴史の中で何を告げようとしていたのかを明らかにしながら、私たち自身の聖書解釈を吟味するための学問分野です。

教員 × 神学生

CROSS TALK

信仰の源泉である聖書の解釈を点検する

様々な視点から土台に光を当てる

小林 聖書神学とは何ですか？

中野 聖書とは何かということを考えたときに、それはキリスト教信仰の源泉であると同時に、教会の歩みの土台となっているものですね。特に私たちプロテスタントの教会は「聖書のみ」といって、聖書というものをとても大事なものとしているわけです。どの神学も聖書に基づいていることは確かですが、聖書を解釈するのは必ずしも簡単なことではありません。

小林 難しいですね。

中野 教会の土台である聖書、あるいはキリスト教の信仰の源泉である聖書とは言っても、その土台をきちんと点検していかないと、知らないうちに勝手な解釈に陥ったり、自己正当化に聖書が使われてしまったりすることがあります。そういうわけで、土台としての聖書およびその解釈を点検する学問が聖書神学なのだと思っています。

内田 聖書神学ではどのようなことを学びますか？

中野 土台としての聖書およびその解釈を点検する作業が聖書神学だとすると、その点検は色々な視点からなされなければなりません。例えば歴史的な視点から、文学的な視点から、そして更に神学的な視点から、という具合に、様々な視点から光を当てて、その土台がしっかりしているのか、その解釈が間違っていないかなど、色々なことを点検していくというのが具体的な聖書神学の営みです。

内田 点検をするためには色々学ぶ必要があるんですね。

小林 先生にとって聖書神学の面白さは何

ですか？

中野 歴史的に聖書を読む面白さに私ははまりました。もちろん文学的な視点で聖書を読み、当然そこから神学的なメッセージを汲み取るのだけでも、キリスト教の信仰というのは、どこか天の高いところに神様がいらっしゃるのではなくて、まさに神様がこの歴史の中に来てくださって、私たちに救ってくださったことに関する信仰であるわけだから、やっぱり歴史というものがキリスト教信仰にとって、とても大事なもののなです。だからこの歴史の中で生きていく私たちに救うために、歴史の中に入ってきてくださった神様に対する信仰が聖書の内容だとするならば、その聖書の持っている歴史的な側面というのがとても大事だし、私にとってはそれがとても面白かったですね。

教会の信仰を健全に保つために

内田 聖書神学を学ぶうえで大事なことは何ですか？

中野 今、歴史的な側面ということを行いました。ただ日本語の聖書翻訳を読んでいけばいいって話ではなくて、もともとの原典はどうなっているのか、また、その時代の歴史なども深く知らなければならぬので、古代の色々な文献にあたることも必要になってきます。

内田 具体的にどんな言語を学びますか？

中野 旧約聖書の場合はヒブル語、新約聖書の場合はギリシャ語を学ばなくてはなりません。更に専門的に学ぶには、それ以外にもラテン語とかアラム語とかシリア語とか関連する

語学も必要になってきます。旧約聖書も新約聖書も、古代において既に色々な言語に翻訳されてきました。そういうものを学ぶと思えば、関連する古典語も学ばなくてはならないのですが、基本的にはヒブル語、ギリシャ語、ラテン語あたりを学んでいただきたいな、と思っています。

小林 様々な言語を必要とするのですか？

中野 歴史学、文献学を用いる研究をやっていくので、そのために色々なことを身に付けたいといけません。

小林 聖書神学と教会とはどのような繋がりがありますか？

中野 教会の信仰の物差しとして聖書は機能します。もちろん「聖書のみ」というところから言えば、聖書があってはじめて教会があるのかもしれない、教会がなければ聖書もないという面もあって、両方の相互的な関わりこそが大事なことです。だから教会にとって聖書はなくてはならない書物ということになります。その際、教会が聖書をどのように解釈しているかが重要となります。教会はときに聖書を歪めて解釈してきた、そんな歴史もありますから、そういう場合はそれを正さなくてはなりません。ですから、これまでの聖書解釈を批判的に点検していくことも大胆にしなければなりません。批判的に点検することがつまずきになる可能性もありますが、それなしには教会の信仰を健全に保つことはできないと思います。間違った方向に教会が進んでしまうことはあるのです。自分たちの聖書解釈を正当化の道具としないで、福音にきちんと立つものとして教会が歩むために、ときに批判的な仕方でもこれまでの解釈を乗り越えていくような作業もしていかなければなりません。



中野 実

東京神学大学大学院博士課程前期課程修了後、米クレアumont大学院大学宗教学部博士課程に留学し、博士号取得。2001年着任、現在、教授。

小林 光恵

2020年度に入学し、インタビュー時は3年。現在は学部4年。

内田 幸四郎

2020年度に入学し、インタビュー時は3年。現在は学部4年。

教員紹介

Satoshi Otomo



小友 聡 教授

[主な担当科目]
旧約聖書原典講読II、旧約聖書神学特講II

[メッセージ]
「コヘレトの言葉と黙示思想の関係」を中心テーマにし、また知恵文学、詩文学、更に旧約聖書学全般を研究領域にしています。

Minoru Nakano



中野 実 教授

[主な担当科目]
新約聖書神学I・II、ギリシャ語I・II、新約聖書学特講I

[メッセージ]
聖書神学は、歴史的、文学的、神学的視点から自らの聖書理解を点検、吟味するための学問分野です。そのような聖書神学を一緒に学んでみませんか。

Hikaru Tanaka



田中 光 准教授

[主な担当科目]
旧約聖書神学I・II、旧約聖書釈義、旧約聖書学特研I

[メッセージ]
旧約聖書の学びは全ての神学の部門の基礎となる学びです。旧約聖書を学ぶことで、共にその無尽蔵の恵みにあずかりましょう！

Katsuya Kawano



河野 克也 特任准教授

[主な担当科目]
新約聖書神学III・IV、新約聖書釈義

[メッセージ]
初期ユダヤ教黙示思想の背景でパウロ神学を研究しています。ギリシャ語テキストから新約各書の固有の声を聴き取る醍醐味を共に味わいましょう！

Yoko Yada



矢田 洋子 特任常勤講師

[主な担当科目]
旧約聖書神学III、旧約聖書学部演習、旧約聖書学演習I

[メッセージ]
原語の言い回しに注目して旧約聖書を読むと、翻訳では気づけなかった嬉しいメッセージに出会えることがよくあります。

組織神学 Systematic theology

組織神学は、キリスト教の信仰内容を現代の文脈に即して捉え直し、理解を深めていく学問で、「教義学」・「倫理学」・「弁証学」から成ります。伝道者に必要なことは、統合的な信仰の深い見識と、それに裏付けられた確信です。組織神学はまた教会の自己吟味として実践神学に論理的土台を提供します。

教員 × 神学生

CROSS TALK

聖書は私たちに何を伝えようとしているのか

聖書全体が語るメッセージ

小林 組織神学とはどんな学問ですか？

須田 聖書それぞれの箇所がどういったことを言っているのか、私たちに何を伝えようとしているのか、まずきちんと理解したうえで、聖書全体のメッセージをまとめると結局どうということになるのか、それを論理的に説明しようと試みるのが組織神学です。

内田 組織神学ではどのようなことを学ぶのですか？

須田 東京神学大学では、「教義学」・「倫理学」そして「弁証学」の三つを必ず学びます。「教義学」というのは聖書全体のメッセージを踏まえると、結局神様がどんなお方で、何をしてくださっているのかを論理的に、体系的に説明しようとする。今度はそれを踏まえて、私たちがその信仰に立ったときに、私たちがどう生きるべきなのか、世界はどうあるべきなのかを論理的に議論していくのが「倫理学」です。「弁証学」は、例えば、神様が世界を良きものとしてお造りくださったのなら、なぜ世界は悪で満ちているのかななどの疑問をぶつけられたときに、それが私たちが信じていることと矛盾しているわけではなく、寧ろ、信仰によって世界をきちんと理解することになること、そしてやはりキリスト教信仰は必要なのだとどう伝えるか、それを学問的に、論理的に組み立てようとする。

小林 組織神学の面白さは何ですか？

須田 私自身が東京神学大学の学生だったときに、特に組織神学の授業で論理的、体系的な議論を学ぶ中で、私たちが教会で信

じ生きてきたことは結局こういうことであつたのだとだんだんはつきりしてきて、福音の喜びを毎回いただくような思いをしたことをよく覚えています。それは今でも変わらなくて、組織神学の研究を進めたり、授業をしながらでも、やはり神様は確かなお方だということ、そしてイエス様を信じるのが、どれほど素晴らしいことかを教えられていく、そこにひとつ組織神学を学ぶ面白さがあるのではないかなと思います。

教会が伝えてきた信仰を、絶えず体系化し続ける

内田 組織神学を学ぶうえで重要なことは何ですか？

須田 信仰というのは、私たちがどう思うのかではなく、やはり教会が使徒たちの時代からずっと信じ伝えてきたことにアメンと言って、そして同じことを、同じ神様のお姿を伝えていくことだと思うんです。だからそこで、自分がどう思うかだけではなく、教会がどのようにこれを信じ伝えてきたのか、その視点を失わないことが大事だと思います。

内田 教会の視点が重要なんですね。

須田 一度体系化してもそれで満足せずに、その場合にお描かれぬ神様の部分はどういうものなのか、それを踏まえて神学者たちの残してくれた体系を学んで、自分なりに教会が伝えてきた信仰の体系を、卒業するまでに、あるいは卒業してからも作り続けていく、常に直しながら作り続けていくことが大事だと思います。

小林 果てしないですね。

須田 また、基礎にあるのは聖書が私たちに

どう伝えているかなので、ただ論理的に説明することで満足せず、それが聖書のメッセージとどういう風にかみ合っているのか、常に聖書の御言葉に聞きながら学問をすることも大事だと思います。聖書神学の神学者たちが、それぞれの聖書箇所についてどう理解を言っているか、我々はアンテナを張ってなければならぬと思っています。

小林 須田先生はどのようにして組織神学を専攻しようと決めましたか？

須田 組織神学を学んでいくと、聖書の御言葉をばらばらに聞いていたのでは分からない事柄を深く知ることができることに感激し、組織神学を専攻しました。そして、この学びが伝道者として教会で伝えていくためにいかに必要かを、更に、教会で問題が起きたときに、それをどのように理解し考えるかにも役立つことを実感しています。

内田 現在は、どのようなことを研究していますか？

須田 信仰全体を神様が三位一体の神だということからとらえる神学を探求しています。いったい教会とは、そして私たちが一言で救いと言っているけれども、それがどういう深みをもった出来事なのかということ三位一体の観点から探求したいと思っています。同時に、17世紀の神学が現代の神学にどういう意味を持ちうるかに関心があります。17世紀のピューリタン、特に会衆派は、国教会から別れて自由教会を生み出しました。その神学を学ぶことで、全て自由教会として存在している日本の教会の在り方をどのように理解できるのか、そこから日本の教会がどうあるべきなのかを研究しています。



須田 拓

東京神学大学大学院博士課程前期課程修了後、英ケンブリッジ大学神学部留学。東京神学大学大学院博士課程後期課程を修了し、博士号取得。2013年着任、現在、教授。

小林 光恵

2020年度に入学し、インタビュー時は3年。現在は学部4年。

内田 幸四郎

2020年度に入学し、インタビュー時は3年。現在は学部4年。

教員紹介

Masami Kojiro



神代 真砂実 教授

【主な担当科目】
神学通論、組織神学Ⅱ、組織神学演習Ⅱ

【メッセージ】
自由な発想でキリスト教信仰と世界とを結びつけて考えられるのが組織神学の魅力の一つです。そうした思索の楽しみを是非一緒に。

Tsutomu Haga



芳賀 力 特任教授

【主な担当科目】
組織神学Ⅰ、信条学、組織神学演習Ⅲ

【メッセージ】
私たちはキリスト教的〈信〉の担い手とされています。その信仰内容を体系的に考察し、信仰理解を更に深めることに努めています。

Taku Suda



須田 拓 教授

【主な担当科目】
組織神学Ⅲ、組織神学学部演習、組織神学特講Ⅱ

【メッセージ】
神はどのようなお方で何をしてくださっているのか、救いとは何かなど、より深くとらえて宣べ伝えるために一緒に学びましょう。

歴史神学 Historical theology

歴史神学は、キリスト教会と教会の教え(教理)の歴史を学びます。ギリシャ語やラテン語、また現代の諸言語で書かれた史料を読み解き、史料が書かれた歴史や出来事の相互関係、文化の脈絡を探ることで、何が起き、それどのような意味があるのかが明らかになっていきます。

教員 × 神学生

CROSS TALK

歴史を学ぶことで、今、そしてこれからを考える

2000年の歴史を踏まえて、繋がりで考える

矢島 歴史神学って何ですか?

本城 自分が何者であるかを知ることです。私たちは2000年の教会の歴史を背負いながら歩んでいます。その歴史の中で何が生まれ、何を背負って、逆に何を背負わなかったかということ学んでいくと、今の自分が何者か分かると思うんですね。それに取り組んでいる神学です。

増尾 授業では宗教改革以降を扱うのかと思ってんですけど、古代教会からのスタートで、びっくりしました。

本城 古代からの流れを踏まえて繋がりで見ると、教会史I~Vの授業では、Iで古代、IIで中世、IIIで宗教改革期、IVで近現代、Vで日本の教会を取り上げて、網羅的に学びます。2000年の間、どういふに教会が歩み、神様によって動かされてきたのか、そういう歴史を学んでいくわけです。

増尾 組織神学と歴史神学とで、神学者が重なり合う部分がありますよね。それぞれ異なる視点であるような印象ですが、どのように考えたらよろしいですか?

本城 歴史神学では、その時代の生の史料、一次史料と言いますが、そこにすぐ立脚するんです。例えば、アウグスティヌス、ルターやカルヴァンは、組織神学でも歴史神学でも学べますが、歴史神学で学ぶ場合は、その人が書いた生の史料をメインにし、教会の歴史の中で、その人がどのように歩んで、どういう背景があったというように、少し歴史性を取り入

れるという面がありますね。

矢島 歴史神学の面白さは何ですか?

本城 今を考えることです。

矢島 歴史なのに?

本城 今起こっている問題は、教会の歴史の中で、実は既に起こっていることがたくさんあると思います。その歴史を学ぶことによって、今を考えて、これから考えることにも繋がってきます。逆に歴史を学ばないと、今を考えても、将来を考えても、地に足がついていないような感じになってしまいます。

矢島 東神大ならではの特徴は何ですか?

本城 授業の幅が広いことです。さっき言ったように、教会史はI~Vまであります。その次の段階の授業として、教理史があります。教理史では、特に教会の中で育まれていった神学や教えにスポットライトを当てつつ、より深く学びます。それから、伝道者として教会に仕えるのに役立つ、その骨格を学ぶことも挙げられます。じっくりと地に足をつけて教会に仕え、伝道していくために、本当に必要な学びが揃っています。これは歴史神学だけでなく、全般的に言えることだと思います。

史料がある限りは答えが必ず見つかる

矢島 「歴史神学を専攻するならラテン語も」と聞きますが、それも特徴ですか?

本城 歴史神学と言うと、語学のイメージが強いかもしれませんが、卒業論文や修士論文で何を扱うかによって、必要な語学が違ってきます。例えば、アウグスティヌスでしたらラテン

語を、ギリシャ教父ならばギリシャ語を学ぶ必要があるでしょう。歴史神学は史料を読む苦労はあるかもしれませんが、読めたときの醍醐味があります。

増尾 東神大の学生だったときから、歴史神学専攻ですか?

本城 そうですね、歴史神学を選びました。

矢島 大学は理工系って聞いたことがありますが…真逆じゃないですか?

本城 いい質問ですね。高校時代は世界史から逃げていたんですけど、東神大に入って、教会史の授業を受けたら、これがすごく面白かった。教会のドロドロとした歴史の中にも不思議な神様の導きを感じ取ることができて、これは面白い、と。それまで逃げてきたということもあるので、敢えてこれを専攻にして、学ぼうと思ったんです。

増尾 歴史神学の勉強は、どのようにすれば興味を持って、楽しくできそうでしょうか。

本城 自分なりの問いを持つことです。問いを持って歴史を学べば興味を持てますよ。矢島さん、どうですか?

矢島 興味を持てる時代と、そうでない時代があるんです。中学・高校だったら、年号や人物を覚えてテストに臨みますけど、歴史神学の場合、どこまで覚えればいいんですか?

本城 ただ単に知識を詰め込めばいいというわけではなくて、自分なりのテーマを設定することが大事です。「教会って何だろう?」「聖餐って何だろう?」というようにテーマを決めて、一人の人物でも一つの時代でも、重点的に学んでいくことです。的確なテーマを設定できれば、史料がある限りは答えが必ず見つかります。



本城 仰太

東京神学大学大学院博士課程前期課程修了、博士課程後期課程単位取得満期退学。博士論文を提出し、2018年に博士号取得。2020年着任、現在、准教授。

矢島 若葉

2021年度に3年次編・転入学し、インタビュー時は4年。現在、博士課程前期課程1年。

増尾 隆司

2021年度に3年次編・転入学し、インタビュー時は4年。現在、博士課程前期課程1年。

教員紹介

Kota Homjo



本城 仰太 准教授

【主な担当科目】
教会史I~III、教理史I、教理史演習II

【メッセージ】
信条がどのように成立し、受容されたかを研究しています。歴史神学の学びは過去だけでなく、現在と将来を考えることにも繋がります。

Aoгу Irida



飯田 仰 助教

【主な担当科目】
歴史神学学部演習

【メッセージ】
歴史神学の奥深さと多言語で神学書を読むことの面白さを共に探究したいと思います。日本と世界での伝道に繋がることを願います。



実践神学 Practical theology

牧師の務めは、神様の実践に参加させていただくことです。神様の実践、すなわち人間が神様の道具として用いられるために、「説教学」・「礼拝学」・「牧会学」・「キリスト教教育学」を学びます。そして、神学諸科を一つの伝道学として統合する働きをするのが実践神学なのです。

教員 × 神学生
CROSS TALK

教会でこそ実践は行なわれている

神様に相応しい仕方 で奉仕ができるようになるために

矢島 実践神学って何ですか？

小泉 神学で学んできたことを、教会での実践に応用して活かすことを考える学です。社会倫理なども含めて実践神学とする考え方もありますが、東神大では教会での実践に絞って考えます。だから、修士論文提出後、大学院2年生の最終学期に集中的に取り組むこととなります。学部では、必修科目の「実践神学概論」や「キリスト教教育概論」の授業で、全体の概説を学びます。選択科目には「説教学入門」や「教会実習」、「牧会心理学」の授業があります。

矢島 小泉先生の「説教学入門」は、どのような授業ですか？

小泉 増尾さんは履修していましたね。どんな感じでしたか？

増尾 主に説教を作るプロセス、黙想から始まり説教を作るところまでを教えていただきました。期末課題では、説教を完全原稿で提出しました。

小泉 みなさんに発表してもらったり、聖書朗読してみたりもしましたね。

増尾 はい。夏期伝道実習前に、「どのように聖書の御言葉を読むのか」ということを教えていただけて良かったです。先生が講壇で話されるのを伺うのと、自分で説教をするのって全然違いますから。

矢島 実践神学の面白さは何ですか？

小泉 実践神学というと、葬儀でも結婚式でも「どうやってやるか」を知りたいと思います。で

も、教会の実践というのは、本当は神様が実践して下さって、神様が働いてくださいます。我々は神様の働きにお仕えするわけですから、神様に相応しい仕方です。奉仕ができるようにというところに広がっていきます。面白さとは違うかもしれませんが、それが大事なところ、そして素晴らしいところだと思います。

矢島 実践神学を学ぶうえで重要なことはありますか？

小泉 教会生活です。教会でこそ実践は行なわれているからです。どれくらい教会生活を喜んでいるか、どれくらい教会の営みに参加しているかということが、本当に大事だと思います。教会に生きているということを土台として学びますし、東神大での学びと教会生活が結びついてくることが大事です。幸いなことです。

増尾 主日礼拝をはじめ、出席教会での奉仕は重視されている印象があります。それから、夏期伝道実習が学部4年と大学院1年で二回あることも、鍛えられていると感じます。

伝道者を養成することは、 説教者を養成すること

矢島 東神大ならではの実践神学の特徴は何ですか？

小泉 実践神学だけでなく東神大の神学は、日本で伝道し、教会を立てるための学、教会と不可欠に結びついた学であることが特徴です。四つの学びの分野がバラバラではなく、繋がって一つの神学を形作っていることも東神大の特色として大事にしています。実践神学の特徴は、教会の実践ということを強く

意識していることです。東神大では、四大領域として説教学・礼拝学・キリスト教教育学・牧会学を学びますが、その中で重点を置いているのは説教学です。だから、伝道者を養成することは、説教者を養成することだと言えます。大学院に「説教学演習」の授業があります。「説教学演習I」と「説教学演習II」は私が担当しますが、集大成である「説教学演習III」の授業は、学長が担当します。みなさんが東神大で学んできて、どのような説教者になったのかということを見られます。東神大での学びを、説教に集約するということが、すごい特徴だと思います。

矢島 どうして実践神学の専攻にしたんですか？東神大の学生だった頃の専攻は何でしたか？

小泉 学部の卒業論文は、歴史神学と組織神学で迷って、最終的に組織神学で書きました。実践神学を専攻したのは、大学院に入ってからです。御言葉を純粹に語る説教者になりたいという思いを持っていて、ポーレンの『説教学』をテーマに修士論文に取り組みました。

増尾 博士課程前期課程のときに、後期課程に進学することを決めていたんですか？

小泉 そんなことないです。修士論文提出後に指導教授の勧めがあり、後期課程に進学しました。でも、教会の働きに追われてしまって、あまり研究はできませんでした。そのようなときに、ドイツに留学する機会が与えられました。留学中は語学の壁もありましたけど、研究に専念することができました。自分がそうしようと思ったわけではなく、そのとき、そのとき、導かれて、道が示されたと感じています。



小泉 健

東京神学大学大学院博士課程前期課程修了後、博士課程後期課程に進学。独ハイデルベルク大学に留学し、博士号取得。2008年着任、現在、教授。

矢島 若葉

2021年度に3年次編・転入学し、インタビュー時は4年。現在、博士課程前期課程1年。

増尾 隆司

2021年度に3年次編・転入学し、インタビュー時は4年。現在、博士課程前期課程1年。

教員紹介

Wayne Jansen



ウェイン ジャンセン 教授

【主な担当科目】
臨床牧会教育、牧会心理学、教会実習I・II

【メッセージ】
記号論を用いてキリスト者としてのアイデンティティと牧師像を考えます。また、牧会を通して、教会における多様性の理解も目指します。

Michi Nagayama



長山 道 教授

【主な担当科目】
キリスト教教育概論、キリスト教教育特講

【メッセージ】
教育をすれば信仰が与えられるというわけではないのに、教育なしに信仰者になった人はひとりもいない。キリスト教教育の不思議に迫る。

Ken Koizumi



小泉 健 教授

【主な担当科目】
実践神学概論、説教学入門、実践神学演習、説教学演習I・II

【メッセージ】
神がお働きます。そこで聖霊はキリスト者を神に仕える道具にします。そのダイナミクスを共に喜び、味わいましょう。

Hoon-Wook Park



朴 憲郁 特任教授

【主な担当科目】
アジア伝道論演習、キリスト教教育特研

【メッセージ】
実践神学のキリスト教教育学諸分野の理論と実践を教えます。そのほかにアジア伝道論演習を行ない、時々アジア諸国に研修旅行します。

学びの特徴

1 伝道者養成のための 召命共同体

東京神学大学は、キリスト教の伝道者を養成する神学専門の単科大学です。教会・キリスト教学校・キリスト教関係の施設（病院等）で牧師・教師・チャプレンとして働く伝道者を育成することを使命としています。そのために、東京神学大学は、学部から大学院の博士課程前期課程までの一貫した神学教育プログラムを提供しています。東京神学大学は「召命共同体」として、教員も学生も神の呼び出しに応えるために、常に自らの召命を神の前に問いつつ、授業と研究はもちろん、毎日の礼拝やクラスごとの祈禱会を通して、生きた神学の研鑽に励んでいます。



2 教会と東京神学大学は 車の両輪

東京神学大学は、日本のプロテスタント諸教会の良き神学教育の伝統を引き継ぐ大学として、多くの教会によって支えられています。例えば、神学生が必要とする経費のうち、およそ半分は全国の諸教会およびそこに属する信徒の方々からの献金によるものです。このような意味で、東京神学大学は教会による、教会のための大学です。それゆえ、神学生にとって教会生活は大学での学びと並んで重要です。神学生はそれぞれの教会に属しながら、牧師の指導のもと教会に仕えることを学びます。東京神学大学と教会はいわば「車の両輪」として共に協力しながら、伝道者の育成に努めています。



Check

信徒として社会に貢献したい人のための神学研修志望

「神学」は生きておられる神を知り、神の恵みにふさわしく生きるために、自らを吟味する学びです。どんなキリスト者も神学を営んでいますし、学べば学ぶほど、信じて生きることを助けます。献身して伝道者になるのではなく、信徒として教会に仕え、社会に貢献する人が神学を本格的に学ぶことも、意味深いことです。そのような人は、「神学研修志望」として神学部神学科で学ぶことができます。学びの内容は「伝道献身志望」の学生とまったく同じです。

3 キリスト教学校の 伝道者を育成

現在日本では、毎年のべ50万人ほどの子どもたち・学生たちがキリスト教学校を卒業すると言われています。そのほとんどは、学校で初めてキリスト教に出会った人たちです。日本のキリスト者人口が100万人ほどであることを考え合わせると、キリスト教学校の働きが日本伝道にとっていかに大きな可能性を秘めているかがよく分かるでしょう。学校礼拝や聖書の授業を通して福音に出会うことが、子どもたちの生涯にわたって豊かに実を結んでいます。このかけがえのない務めのために、これからもキリスト教学校の建学の精神を担う教師が、是非とも必要です。

東京神学大学では、神学の研鑽と並行して教職課程を履修し、中学校・高等学校での宗教科の教育職員免許状（一種・専修）を取得することができます。聖書科・宗教科教師（教務教師）として学校に遣わされる場合はもちろん、牧師として教会に仕える場合でも、付属幼稚園やこども園の園長、近隣のキリスト教学校の非常勤講師となるよう求められることは少なくありません。その際に、この免許状が資格要件として有効に用いられます。これまでに教育職員免許状を取得した卒業生の多くは、教会とキリスト教学校との良い協力関係を築き、両方の場において伝道、牧会、教育に貢献してきました。キリスト教学校や教師の働きについて学びを深めるための課外プログラムも、豊富に用意されています。経験豊かな講師陣により、福音信仰に立つキリスト教教育を学んでみませんか。



| Student's voice |



学校の「牧師」に

2023年度博士課程前期課程2年 菊池 麻祐

私はキリスト教学校で仕える伝道者になりたいと願っています。これまで3年間、東神大でキリスト教教育についての非常に良い学びを与えられました。東神大に入ってよく分かったことは、聖書科教員というものは牧会の働きであるということです。学びの以前は、「一科目の教員」というイメージがありました。もちろんそのように講壇に立たれている先生方もおられます。しかしそこにとどまらず、学校の「牧師」の存在が、キリスト教学校において必要とされていることを知りました。また、東神大はそのように牧者・伝道者として遣わされることをとても大事にしていることを知り、私自身、その学びの中で召しをもう一度捉え直し、また覚悟をもってその召しを受け取り直したように思います。

教職課程の授業の多くは、実際に教育の現場に立ってこられた先生方が担い、教えてくださっています。生徒の生の声を聞き、実際の学校の状況をイメージしながら学べたことは非常に有意義なことでありました。また生徒と人格的な関わりをもっておられる先生方の姿から多くのことを学びました。キリスト教学校での働きを考えておられる方、またそうではなく教会の牧師を目指している方にも、東神大の教職課程をおすすめしたいと思います。

CAMPUS LIFE

東京神学大学は大学であると同時に「神学校」で、信仰と志を同じくする召命共同体です。
神学校ならではのキャンパスライフの特徴を、神学生の声と共に紹介します。

FEATURES

キャンパスライフ 5 つの特徴

01 礼拝

学内礼拝では、神学生と教員が共に奉仕を担い、御言葉に聞き、賛美し、祈りを合わせています。教会に仕えていく召命の志を与えられている私たちにとって礼拝は、神様が共にいてくださっていることを覚えさせていただくときです。日々の学びや生活での悩みや不安などによって疲れている心を、御言葉によって癒され、力づけられ、励ましを与えられています。与えられている召命を確認しつつ、深めるときともなっています。召命共同体として共に福音の伝道を担っていくこと、そして将来の献身者を呼び起こしていただけるようにと祈りを合わせています。

2023年度 博士課程前期課程1年 佐藤 潤



04 クラスの変わり

年によって日本全国から、海外から、本当に様々な背景を持った人が集まります。年齢も10代から70、80代まで色々です。共通点は、洗礼を受けていて、共に伝道に遣わされるために集められたということ。今まで知らなかったことや、自分では気づけないことに気づかせてくれる仲間たちです。週一回のクラス別の祈禱会で、共に祈りを合わせて一週間の学びが始まります。大変なことももちろん多いですが、それを一緒に共有して祈り合い、支え合い、励まし合う、嬉しいときには喜び合う、そのような共同体の仲間たちが与えられています。

ソノ チキユ
2023年度 博士課程前期課程2年 成 智圭



02 教会生活

主日礼拝から神学校に送り出され、また週の初めに礼拝に招かれます。御言葉を味わい知り、牧会を体験するかけがえのないときです。そして、献身の歩みと神学の学びが、主の、そして教会の祈りの内に覚えられ支えられてあることに幾度となく立ち帰られます。私にとって教会は安息の場であり、魂の養いを得る場所です。その愛の中で御言葉の務めの備えがなされていきます。神学校における教会生活も主が備え召して下さっており、よい牧者との出会いが与えられるでしょう。教会に遣わされる日を仰ぎ、今必要な養いを主が備えてくださることに委ねて。

2023年度 博士課程前期課程2年 原田 雅子



05 奨学金

入学して以来、私がずっと安心して学業に集中できたのは、奨学金制度があったからです。大学・大学院入学時の授業料や神学校生活のための奨学金、そして外国人留学生のための授業料減免など、様々な奨学金制度が整えられており、私はその恩恵に与った一人です。これらの奨学金は、教職者を育てようとする東京神学大学の強い意志や、日本全国の諸教会の祈りそのものであると私は思います。この目に見える恵みに支えられ、神学の学びが続けられていることに深く感謝しております。

キム ミンジェ
2023年度 博士課程前期課程2年 金 旻哉



4月 APR.

- 入学式・オリエンテーション
- 前期始業式・始業講演
- 神学校全学集会
- クラス別懇談会

5月 MAY

- 全学懇談会
- 学生総会
- 生活倫理講座1
- 運動会
- キリスト教学校伝道協議会

6月 JUN.

- 日本伝道フォーラム
- 全学祈禱会
- 博士課程後期課程研究発表会

7月 JUL.

- 夏期伝道実習壮行祈禱会
- 入試説明会

8月 AUG.

- 夏期伝道実習

9月 SEP.

- 修士論文提出締切
- 後期始業式・始業講演
- 日本伝道を担う青年の集い

10月 OCT.

- 夏期伝道実習報告会
- 神学校日

11月 NOV.

- 全学修養会
- 生活倫理講座2
- 神学校生活懇談会

12月 DEC.

- オープンキャンパス
- クリスマス礼拝
- クリスマス愛餐会

1月 JAN.

- 教職セミナー
- 全学祈禱会
- 学生総会

2月 FEB.

- 大学院博士課程前期課程・博士課程後期課程内部入学者選抜
- アジア伝道研修旅行(隔年)

3月 MAR.

- 卒業礼拝
- 卒業・修了式学位授与式

CAMPUS MAP

東京神学大学は都心を少し離れた武蔵野の自然の中にあり、神学生は緑豊かで閑静なキャンパスで学んでいます。国際基督教大学・ルーテル学院大学と敷地を接しており、それらの大学の図書館等の施設を利用することができます。

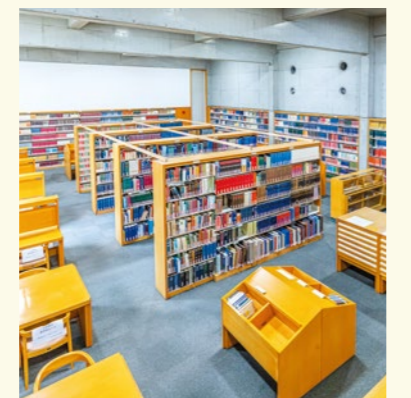
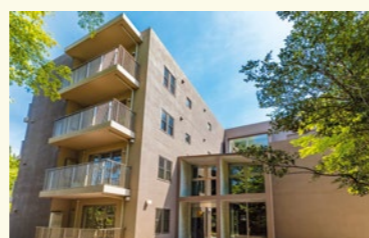


施設の詳しい情報はこちら▶



1 礼拝堂
神学校生活の要である礼拝が守られるところです。クリスマス礼拝や卒業礼拝では、共に聖餐に与ります。入学式や卒業式等の行事も、この礼拝堂で執り行なわれます。

2 学生寮
2021年に新築されました。学生の約半数が寮で共同生活をしており、運営は寮生が担っています。毎朝行なわれる寮拝や日々の生活を通して交わりが深まります。



3 図書館
東京神学大学の図書館には、和書50,000冊、洋書77,000冊、計127,000冊ものキリスト教神学専門書が所蔵されています。プロテスタント神学を先導してきた英語圏・ドイツ語圏の洋書も可能な限り備えられており、その数は和書よりも多いほどです。神学の専門雑誌は、英語圏・ドイツ語圏、種々合わせると1,000点以上になります。神学を研鑽するうえで最良の研究環境と言っても過言ではなく、キリスト教の情報センターとして、学外の研究者にも多く利用されています。

データで見る東京神学大学

後援会活動

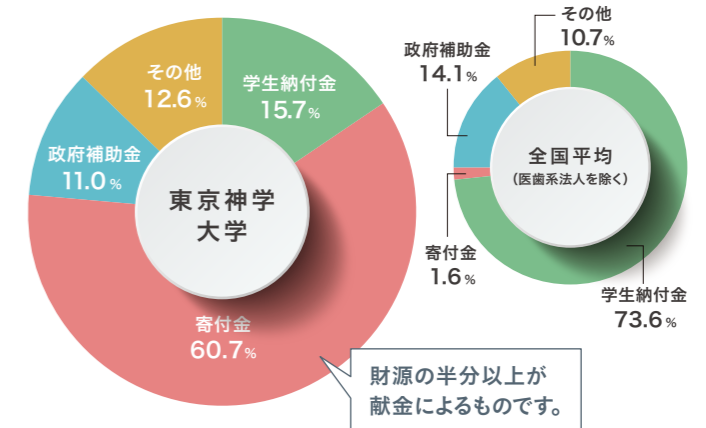
600を超える教会、5,000を超える信徒の方々に支えられた大学

東京神学大学では、全国24地区、39地域で後援会が組織され、教会・信徒の方々へ献金によるお支えをお願いし、毎年600を超える教会、5,000人を超える方々にご賛同いただいています。また、関連諸団体やキリスト教学校からも献金がささげられています。

支援拡大に向けてのお願い

東京神学大学のために祈ってください。将来、伝道者となる献身者を送ってください。東京神学大学を献金で支えてください。

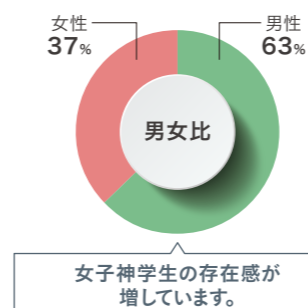
≫ 私立大学経常収入の比較



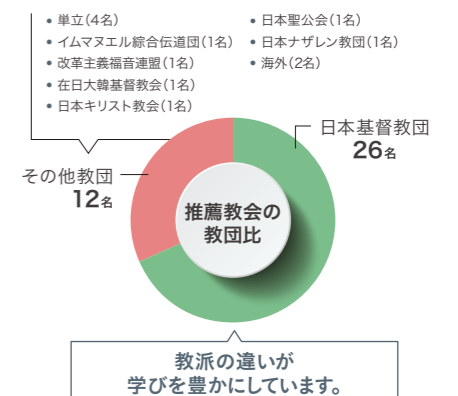
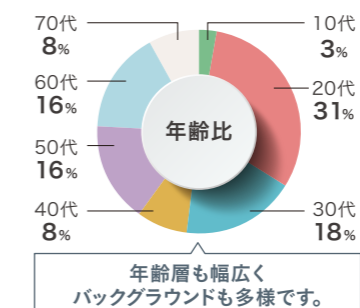
一般的な大学は、収入の大部分が学生納付金で賄われますが、東京神学大学の場合、教育研究費・奨学金等の財源の半分以上を献金で占め、財政が支えられています。そのような東京神学大学を支えるために、1960年代から後援会活動が始まり、現在では全国で39の後援会が活動しています。神学校日を中心に、全国で後援会主催の公開講演会が開かれています。教員による講演や大学の現状の説明が行なわれ、全国の信徒の方々との交わりのときとなっています。

※東京神学大学「2021年度決算」および『令和4年版今日の私学財政』より

2022年度学部生の状況



(2022年5月1日現在)



卒業生の赴任状況

大学院博士課程前期課程修了生は、全国の教会やキリスト教学校等の任地へ赴きます。

